



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月3日

上場会社名 株式会社アドウェイズ 上場取引所 東
 コード番号 2489 URL http://www.adways.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当上席執行役員 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-5331-6308
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益 又は損失（△）		経常利益 又は損失（△）		親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,454	10.2	△3	—	△22	—	△164	—
28年3月期第1四半期	9,482	7.4	204	△12.3	220	△8.7	121	29.2

（注）包括利益 29年3月期第1四半期 △296百万円（-％） 28年3月期第1四半期 116百万円（439.5％）

	1株当たり 四半期純利益 又は損失（△）	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△4.04	—
28年3月期第1四半期	2.93	2.93

（注）平成29年3月期第1四半期について、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失のため、各項目の対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	18,996	12,097	62.7	292.49
28年3月期	19,950	12,489	61.7	302.18

（参考）自己資本 29年3月期第1四半期 11,911百万円 28年3月期 12,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	2.35	2.35
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 平成29年3月期の配当予想については、現時点では当社グループの主力事業である国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの成長による著しい市場の変化を鑑み、平成29年3月期通期の連結業績予想は変動が大きくなることを想定してレンジを設けているため、未定とさせていただき、開示が可能となった段階で速やかに開示する予定であります。詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	41,000	3.5	100	△85.5	100	△86.6	10	△93.1	0.25
	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	44,000	11.1	500	△27.3	500	△32.8	200	37.3	4.91

- （注）1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 平成29年3月期の業績予想につきましては、レンジ形式により開示しております。
 3. 第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、記載を省略しております。
 4. 1株当たり当期純利益は、第1四半期末の自己株式を除いた発行済み株式数である40,725,900株を期中平均株式数と仮定して算出しております。
 5. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）ADWAYS INNOVATIONS INDIA PVT. LTD.、除外 1社（社名）

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	41,583,500株	28年3月期	41,583,500株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	857,600株	28年3月期	857,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	40,725,900株	28年3月期1Q	41,568,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本資料は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本資料の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ウェブサイト（<http://ir.adways.net/>）にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、前年同期に対して売上高は増加し、営業損益、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益は減少となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	9,482,352	10,454,213	971,860 (10.2%)
営業利益 又は損失(△)	204,945	△3,951	△208,897 (—)
経常利益 又は損失(△)	220,382	△22,211	△242,593 (—)
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	121,972	△164,428	△286,401 (—)

売上高は、広告事業が順調に推移したことにより971,860千円増加し、10,454,213千円(前年同期比10.2%増)となりました。

営業損益は、当第1四半期連結累計期間の4月に新卒社員が入社したことによる人件費の増加や、サービス拡大による費用の増加に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより3,951千円の損失(前年同期は204,945千円の利益)、経常損益は、営業利益の減少及び為替差損の発生等により22,211千円の損失(前年同期は220,382千円の利益)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益は、経常利益の減少並びに関係会社株式及び投資有価証券評価損による特別損失の発生等により164,428千円の損失(前年同期は121,972千円の利益)となりました。

[報告セグメント別業績]

①広告事業

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	7,681,467	8,834,471	1,153,004 (15.0%)
(外部売上高)	7,592,961	8,715,475	1,122,513 (14.8%)
(セグメント間売上高)	88,505	118,996	30,490 (34.5%)
セグメント利益	725,325	660,999	△64,325 (△8.9%)

内訳：外部売上高(広告事業)

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
スマートフォン向け広告	4,250,665	4,234,743	△15,922 (△0.4%)
フィーチャーフォン向け広告	113,047	92,163	△20,883 (△18.5%)
モバイル向け広告計	4,363,712	4,326,906	△36,805 (△0.8%)
PC向け広告	3,229,248	4,388,568	1,159,319 (35.9%)

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告サービス「AppDriver」や、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第1四半期連結累計期間における広告事業のモバイル向け広告は、広告主の広告出稿の減少により、モバイル向け広告の売上高は4,326,906千円(前年同期比0.8%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間における広告事業のPC向け広告は、金融関連企業を中心に取引が増加したことにより、売上高は4,388,568千円(前年同期比35.9%増)となりました。

この結果、広告事業の売上高は8,715,475千円(前年同期比14.8%増)、セグメント利益は新卒社員の入社に伴う人件費等の費用の増加等により、660,999千円(前年同期比8.9%減)となりました。

②アプリ・メディア事業

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	252,710	172,932	△79,778 (△31.6%)
(外部売上高)	252,688	172,629	△80,058 (△31.7%)
(セグメント間売上高)	22	302	280 ※(—)
セグメント損失(△)	△60,113	△21,249	38,864 (—)

内訳：外部売上高(アプリ・メディア事業)

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
アプリ事業	125,807	87,955	△37,851 (△30.1%)
メディア事業	126,881	84,673	△42,207 (△33.3%)

アプリ・メディア事業は、主に連結子会社であるコパン株式会社とADWAYS TECHNOLOGY LTD.において、スマートフォンアプリの開発・運営、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいて土業向けのポータルサイト等のメディア運営等を行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、「古の女神と宝石の射手」等の自社グループタイトルのゲームアプリの売上高が減少したことにより、売上高は87,955千円(前年同期比30.1%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるメディア事業は、株式会社サムライ・アドウェイズにおいて行っているメディア事業の広告主の出稿意欲の低下により、売上高は84,673千円(前年同期比33.3%減)となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は172,629千円(前年同期比31.7%減)、セグメント損失は21,249千円(前年同期は60,113千円の損失)となりました。

※セグメント間売上高の対前年同期増減率は、増減率が1,000%以上のため表記しておりません。

③海外事業

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売 上 高	1,644,705	1,809,482	164,776 (10.0%)
(外 部 売 上 高)	1,582,826	1,520,045	△62,780 (△4.0%)
(セグメント間売上高)	61,878	289,436	227,557 (367.7%)
セグメント損失(△)	△22,858	△185,305	△162,447 (—)

海外事業は、中国・香港・台湾・韓国・米国・シンガポール・インドにおいて、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間における海外事業は、前第4四半期における広告主の広告予算消化の反動減等及び事業拡大に伴う費用が増加した結果、海外事業の売上高は1,520,045千円(前年同期比4.0%減)、セグメント損失は185,305千円(前年同期は22,858千円の損失)となりました。

④その他

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売 上 高	80,025	47,568	△32,457 (△40.6%)
(外 部 売 上 高)	53,876	46,062	△7,813 (△14.5%)
(セグメント間売上高)	26,149	1,506	△24,643 (△94.2%)
セグメント損失(△)	△79,765	△71,497	8,268 (—)

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他は、国内においてインターネットを活用した中古品買取販売を中心とした新規事業の取引の減少により、売上高は46,062千円(前年同期比14.5%減)と減少したものの、営業費用の減少により、セグメント損失は71,497千円(前年同期は79,765千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (平成28年6月30日)	対前期末増減額 (増減率)
資 産 合 計	19,950,802	18,996,969	△953,833 (△4.8%)
負 債 合 計	7,461,074	6,899,288	△561,786 (△7.5%)
純 資 産 合 計	12,489,728	12,097,681	△392,046 (△3.1%)

[資産合計]

- ・流動資産が前連結会計年度末より1,022,727千円減少し16,561,087千円となりました。主な要因は、現金及び預金が616,947千円減少したこと並びに受取手形及び売掛金が448,713千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産が前連結会計年度末より68,894千円増加し2,435,882千円となりました。主な要因は、投資その他の資産に含まれる貸倒引当金が24,394千円増加したものの、無形固定資産に含まれるのれんが133,191千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より560,711千円減少し6,789,853千円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が394,456千円減少したこと並びに未払法人税等が232,689千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より1,074千円減少し109,434千円となりました。主な要因は、その他に含まれる資産除去債務が735千円減少したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より392,046千円減少し12,097,681千円となりました。主な要因は、利益剰余金が260,134千円減少したこと並びに為替換算調整勘定が120,526千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、スマートフォンビジネスのサービスの多様化や新しいテクノロジーの発生が見込まれています。また、全世界において、インターネット及びスマートフォンの普及が今後さらに拡大していくと予想されます。

このような経営環境のもと、当社グループは、これらの拡大が見込まれるスマートフォン関連事業及び海外事業に積極的に注力することで事業の拡大を図ってまいります。

なお、平成29年3月期通期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業である国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの成長による著しい市場の変化を鑑み、業績予想にレンジを設けており、売上高は、41,000百万円～44,000百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加及び販管費の増加により100百万円～500百万円を見込んでおり、経常利益は100百万円～500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は10百万円～200百万円を見込んでおります。

なお、当社グループが事業展開を行う国内及び海外のスマートフォン広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想並びに第2四半期連結累計期間における業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、ADWAYS INNOVATIONS INDIA PVT. LTD. を新規設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,918,672	10,301,724
受取手形及び売掛金	6,415,206	5,966,492
たな卸資産	47,074	46,440
繰延税金資産	31,133	14,689
その他	412,145	463,069
貸倒引当金	△240,417	△231,329
流動資産合計	17,583,814	16,561,087
固定資産		
有形固定資産	351,926	338,185
無形固定資産		
のれん	21,510	154,701
その他	77,006	75,339
無形固定資産合計	98,516	230,040
投資その他の資産		
その他	1,933,580	1,909,087
貸倒引当金	△17,036	△41,430
投資その他の資産合計	1,916,544	1,867,656
固定資産合計	2,366,988	2,435,882
資産合計	19,950,802	18,996,969
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,626,569	5,232,112
未払法人税等	307,637	74,948
その他	1,416,358	1,482,792
流動負債合計	7,350,564	6,789,853
固定負債		
その他	110,509	109,434
固定負債合計	110,509	109,434
負債合計	7,461,074	6,899,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605,258	1,605,258
資本剰余金	7,294,982	7,294,982
利益剰余金	3,317,590	3,057,455
自己株式	△406,577	△406,577
株主資本合計	11,811,255	11,551,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,099	26,077
為替換算調整勘定	455,261	334,735
その他の包括利益累計額合計	495,360	360,812
新株予約権	60,951	60,951
非支配株主持分	122,160	124,797
純資産合計	12,489,728	12,097,681
負債純資産合計	19,950,802	18,996,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,482,352	10,454,213
売上原価	7,683,490	8,692,606
売上総利益	1,798,861	1,761,606
販売費及び一般管理費	1,593,916	1,765,558
営業利益又は営業損失(△)	204,945	△3,951
営業外収益		
受取利息	13,470	6,785
消費税等免除益	1,090	251
その他	3,255	2,919
営業外収益合計	17,816	9,956
営業外費用		
投資有価証券評価損	897	824
為替差損	489	25,348
持分法による投資損失	391	21
その他	601	2,021
営業外費用合計	2,380	28,216
経常利益又は経常損失(△)	220,382	△22,211
特別利益		
投資有価証券売却益	5,650	—
特別利益合計	5,650	—
特別損失		
関係会社株式評価損	—	26,990
投資有価証券評価損	—	54,442
固定資産売却損	9	—
減損損失	4,742	—
特別損失合計	4,751	81,432
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	221,280	△103,644
法人税、住民税及び事業税	108,759	21,009
法人税等調整額	△18,931	31,211
法人税等合計	89,827	52,221
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131,452	△155,865
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,479	8,563
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	121,972	△164,428

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131,452	△155,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,923	△14,021
為替換算調整勘定	9,834	△126,453
その他の包括利益合計	△15,088	△140,475
四半期包括利益	116,363	△296,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,248	△298,977
非支配株主に係る四半期包括利益	11,115	2,636

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	7,592,961	252,688	1,582,826	9,428,475	53,876	9,482,352	—	9,482,352
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	88,505	22	61,878	150,407	26,149	176,556	△176,556	—
計	7,681,467	252,710	1,644,705	9,578,883	80,025	9,658,908	△176,556	9,482,352
セグメント利 益又は損失 (△)	725,325	△60,113	△22,858	642,353	△79,765	562,587	△357,641	204,945

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△357,641千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、保有するソフトウェアについて減損損失4,742千円を特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。

この変更によるのれんの減少額は、当第1四半期連結累計期間において、「広告事業」セグメントが10,955千円、「アプリ・メディア事業」セグメントが313千円、「海外事業」セグメントが5,678千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	8,715,475	172,629	1,520,045	10,408,150	46,062	10,454,213	-	10,454,213
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	118,996	302	289,436	408,735	1,506	410,241	△410,241	-
計	8,834,471	172,932	1,809,482	10,816,886	47,568	10,864,455	△410,241	10,454,213
セグメント利 益又は損失 (△)	660,999	△21,249	△185,305	454,444	△71,497	382,947	△386,898	△3,951

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△386,898千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間において事業譲受を行ったため、のれんが137,700千円増加しております。なお、当該のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。